

年度戻し時 来期に仕訳が発生している場合

発展会計では年度戻し時に来期に仕訳が発生していると、年度戻しを処理自体が取り消されます。年度戻しを行いたい場合は、来期の仕訳を発展会計から削除しなければなりません。このマニュアルでは、来期仕訳の保存方法・削除方法について項目ごとに説明いたします。目的に応じて各リンクへ進んでください。

1	年度戻しエラーについて	2
2	来期の仕訳を保存する	3
	※削除前の取込テスト	4
3	来期の仕訳を削除する	5
4	年度戻しを実行する	6
5	年次繰越を実行する	8
6	来期の仕訳を取り込む	9

※本文内の(F7-1)等はメニューの位置を表しています。

※削除前に取込テストを行わずに仕訳を削除してしまうと、「発展会計のマスタ」と「取込 csv データ」双方を訂正しなければならないため、最終的に来期の仕訳を取り込む際に、面倒が生じます。

取込テストを行い、すんなり取り込める状態の csv ファイルを保存しておくことをお勧めします。

1.年度戻しエラーについて

2年前のデータを修正する必要がある場合、年度戻しを2回行う必要がありますが
F3-4 年度戻し処理時に、来期に仕訳が存在していると、下記のようなエラーが出ます

来期で仕訳が発生していると年度戻し処理を実行することが出来ません。
実行するためには、来期の仕訳を発展会計から削除する必要があります。

2.来期の仕訳を保存する

F6-1 仕訳伝票メニューにてバックアップを取ります。

条件を指定し、任意の場所に保存します。

印刷条件 花木デモ【略称】-仕訳伝票

仕訳伝票

伝票日付
2016年2月~1月
 通期
 日付
 月

部門 全社
全社
 かな地域
 カナ地域
 アルファベット

伝票番号
更新日付 2017/05/24 ~ 2017/05/24
更新担当者ID AAWW0000039
入力元画面 伝票
 日ごとに改ページする
 ページ番号を出力する

伝票ステータス
 全て(本伝+仮伝)
 本伝のみ

プレビュー(F6) 条件リセット(F7) **CSV出力(F8)** ヘルプ(F1) 終了(F12)

保存

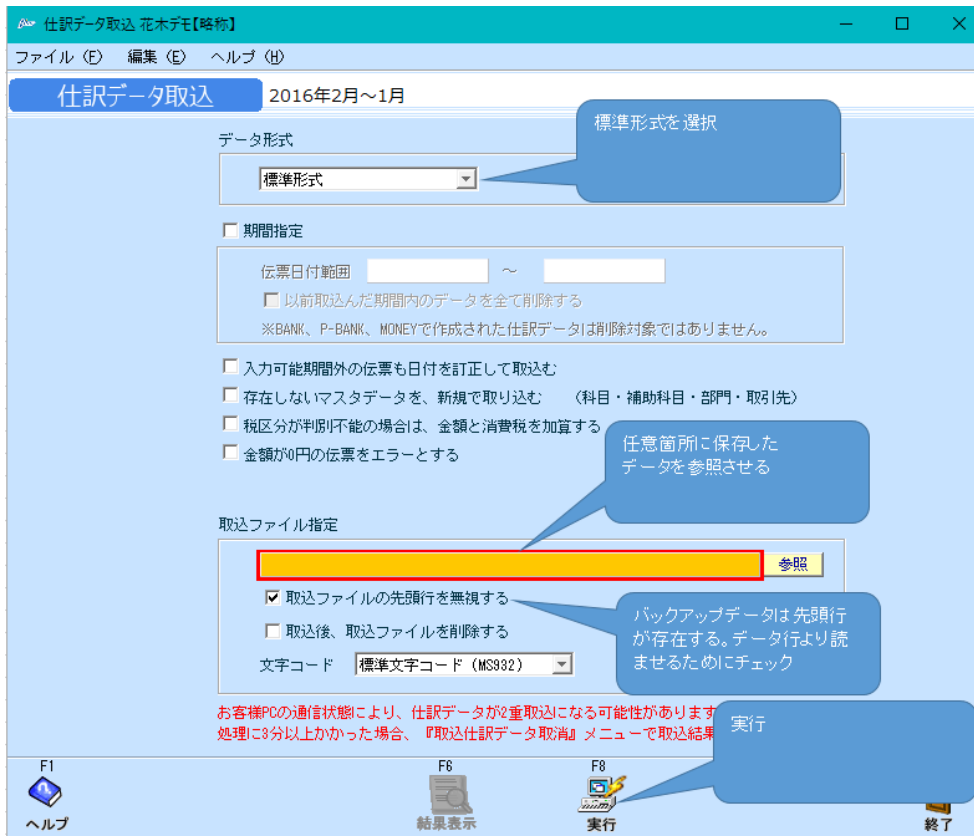
保存先: デスクトップ

最近使った...
デスクトップ
ドキュメント
PC
ネットワーク

ファイル名(N): 取込用仕訳.CSV
ファイルのタイプ(T): CSVファイル

保存 取消

※削除前に、F7-3 仕訳データ取込メニューにて「取込テスト」を行うことを推奨します。



エラーが出た場合、解消した状態で、バックアップを取り直してください。

※エラーの意味が分からない場合は、[仕訳データ取込のヘルプ](#)にてご確認ください。

取込が成功しても、F7-3 取込仕訳データ取消にて取り消しが可能です。



[目次へ](#)

4.年度戻し処理を実行

表示条件

表示条件

期間
含む 含まない のみ
 2018年2月～1月
 2012年2月～1月
 2013年2月～1月
 2014年2月～1月
 2015年2月～1月
 2016年2月～1月
 2017年2月～1月
 2018年2月～1月
 2018年2月～1月

部門
 全社
 かな地域
 カナ地域
 アルファベット

取引先コード

伝票タイプ
全て(本伝+仮伝)
本伝のみ

増減 繰越

補助科目管理しているすべての科目で補助科目を表示

OK (F5) 条件リセット (F7) ヘルプ (F1) キャンセル (F12)

試算表にて来期を指定し仕訳を表示

仕訳が一本も発生していない状態になっていれば、年度戻しが可能です

会計残高試算表

ファイル (E) 編集 (E) 移動 (I) 設定 (S) ヘルプ (H)

合計残高試算表

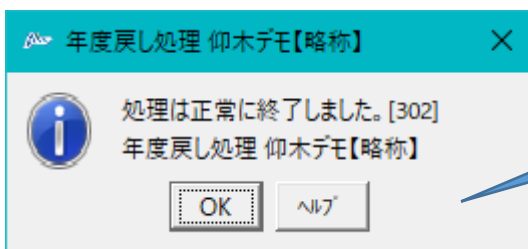
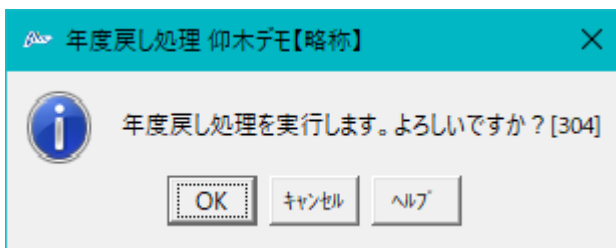
日付範囲 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 通期 2019/02/01 ~ 2019/02/01 表示 詳細 (決算仕訳を含む)

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 工事原価報告書

勘定科目/補助科目	前期金額	構成比(前期)	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比	前年比率
111 現金	-746,198	-0.2	-746,198	0	0	-746,198	-0.2	0.0
112 小口現金	-315,309	-0.1	-315,309	0	0	-315,309	-0.1	0.0
+ 121 当座預金	52,299,656	11.8	52,299,656	0	0	52,299,656	11.8	0.0
+ 125 楽天カード	-1,265,252	-0.3	-1,265,252	0	0	-1,265,252	-0.3	0.0
+ 131 普通預金	44,680,659	10.0	44,680,659	0	0	44,680,659	10.0	0.0
1008 別段預金	-8,780	0.0	-8,780	0	0	-8,780	0.0	0.0
[現金/預金]	94,644,776	21.3	94,644,776	0	0	94,644,776	21.3	0.0
151 受取手形	58,415,445	13.1	58,415,445	0	0	58,415,445	13.1	0.0
+ 152 売掛金	19,189,460	4.3	19,189,460	0	0	19,189,460	4.3	0.0
162 貸倒引当金(売)	-85,000	0.0	-85,000	0	0	-85,000	0.0	0.0
[売上債権]	77,519,905	17.4	77,519,905	0	0	77,519,905	17.4	0.0
172 製品	18,181,368	4.1	18,181,368	0	0	18,181,368	4.1	0.0
174 原材料	-67,157,556	-15.1	-67,157,556	0	0	-67,157,556	-15.1	0.0
[棚卸資産]	-48,976,188	-11.0	-48,976,188	0	0	-48,976,188	-11.0	0.0
181 前渡金	450,000	0.1	450,000	0	0	450,000	0.1	0.0
184 前払費用	3,692,597	0.8	3,692,597	0	0	3,692,597	0.8	0.0
+ 183 仮払金	6,838	0.0	6,838	0	0	6,838	0.0	0.0
[他流動資産]	4,149,435	0.9	4,149,435	0	0	4,149,435	0.9	0.0
[流動資産]	127,337,928	28.6	127,337,928	0	0	127,337,928	28.6	0.0
211 建物	4,160,313	0.9	4,160,313	0	0	4,160,313	0.9	0.0
212 建物付属	2,055,063	0.5	2,055,063	0	0	2,055,063	0.5	0.0
214 機械装置	-11,085,048	-2.5	-11,085,048	0	0	-11,085,048	-2.5	0.0
215 車両運搬具	14,329,273	3.2	14,329,273	0	0	14,329,273	3.2	0.0

F1 ヘルプ F5 見出しへ F6 元帳へ F7 リセット F12 終了

F3-4 年次繰越処理を実行します。



問題なく
実行できました

[目次](#)△

5.年次繰越を実行する

F1-3 合計残高試算表(画面)にて通期で表示すると、今期が「2017年度」になっていることが確認できますので必要な修正を行います。

合計残高試算表

日付範囲	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	通期	2017/02/01 ~ 2018/01/31	表示	詳細	(決算仕訳を含む)
貸借対照表	損益計算書	製造原価報告書	工事原価報告書														

修正が終了したら、再度 F3-1 年次繰越を行います。

年次繰越処理 2017年2月~1月

当財務システムは、2ヵ年分のデータ入力が可能です。
年次繰越処理で作成するデータは、来々期のデータ領域となります。

今期	年度名称	2017年2月~1月	
	会計期間	2017年2月1日 ~ 2018年1月31日	
来々期	年度名称	2018年2月~1月	→ 今期
	会計期間	2018年2月1日 ~ 2019年1月31日	
来々期 (作成するデータ)	年度名称	2018年2月~1月	→ 来期

減価償却処理が未完了でも繰越処理を行う

年次繰越を実行すると、今期のデータの修正はできなくなります。

F1 ヘルプ F8 実行 F12 中止

年次繰越処理 仰木デモ【略称】

処理は正常に終了しました。[302]
年次繰越処理 仰木デモ【略称】

OK ヘルプ

問題なく
実行できました。

6.来期の仕訳を取り込む

企業に再ログインし、F1-3 合計残高試算表（画面）にて通期で表示すると、今期が「2018年度」になっていることが確認できます。

合計残高試算表

日付範囲 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 通期 2018/02/01 ~ 2019/01/31 表示 詳細 (決算仕訳を含む)

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 工事原価報告書

F7-3 仕訳データ取込メニューにて保存した伝票を取り込みます。

仕訳データ取込 仰木デモ【略称】

ファイル (F) 編集 (E) ヘルプ (H)

仕訳データ取込 2018年2月~1月

データ形式
標準形式 標準形式を選択

期間指定
伝票日付範囲 [] ~ []
 以前取込んだ期間内のデータを全て削除する
※BANK、P-BANK、MONEYで作成された仕訳データは削除対象ではありません。

入力可能期間外の伝票も日付を訂正して取込む
 存在しないマスタデータを、新規で取り込む (科目・補
任意場所に保存したデータを参照させる
 税区分が判別不能の場合は、金額と消費税を加算する
 金額が0円の伝票をエラーとする

取込ファイル指定
[] 参照
 取込ファイルの先頭行を無視する
保存データは先頭行が存在する。先頭行をデータとして読ませないため、チェックする。
 取込後、取込ファイルを削除する
文字コード 標準文字コード (MS932)

お客様PCの通信状態により、仕訳データが2重取込になる可能性があります。取込処理に3分以上かかった場合、『取込仕訳データ取消』メニューで取込結果をご確認ください。

F1 ヘルプ F6 結果表示 F8 実行 F12 終了

[目次へ](#)

操作は以上です。